

令和7年度 第1回 輪島市総合教育会議 議事要旨

日 時：令和7年10月29日（水）13:00～13:45

会 場：輪島市役所本館3階大会議室

■ 挨拶（市長）

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、総合教育会議にお集まりいただきましてありがとうございます。とうございます。

昨年の、能登半島地震と能登豪雨、2つの大きな災害を受ける中、皆様には市の教育行政の充実と推進に大変なお力添えをいただきまして、改めて感謝申し上げます。

この2つの災害からの復旧・復興において、教育行政、教育施設、社会教育施設、各学校施設は、非常に大きな被害を受けました。ここからの復旧は極めて大事なことだと感じています。

また、震災前は1,100人いた児童生徒が、震災後、32%の減少となる745名となっており、全市人口減少は14%程度である状況と比較しても、非常に大きな減少です。こうして大きな被害を受け大変な思いをしながらも、これからの教育環境を整え、受け入れていかなければなりません。

来年度からは義務教育学校、そして統合も始まります。

皆様の力もお借りして、学校の先生方、保護者の皆様、地域の皆さんと力を合わせ、教育環境をしっかりと充実させ、今後の輪島市を担う子どもたちが育っていただけるよう、

取り組んでいかなければならないと思っております。

皆様も被災された中、大変なところではありますけれども、今後ともご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 出席者紹介（司会（教育総務課長））

続きまして、本日までご出席いただきました皆様をご紹介します。

輪島市長 坂口 茂です。

輪島市教育委員会教育長 小川 正です。

輪島市教育委員会教育長職務代理者 石本 昇藏 様です。

輪島市教育委員会教育委員 浦 一正 様です。

輪島市教育委員会教育委員 松山 忍 様です。

輪島市教育委員会教育委員 谷口 光花 様です。

次に事務局のご紹介をさせていただきます。

輪島市教育委員会教育部長 木下 充です。

輪島市教育委員会教育総務課課長補佐 卯木 将史です。

輪島市教育委員会教育総務課庶務係長 坂角 多恵です。

輪島市教育委員会教育総務課主事 天野 和剛です。

司会進行は、教育総務課 平田 が務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。それでは、会議資料に従いまして会議を進めます。

■ 議題：輪島市教育大綱及び輪島市教育振興基本計画について

(司会)

令和2年度に策定いたしました輪島市教育大綱及び輪島市教育振興基本計画について、それぞれの計画期間が令和7年度で終了することから、新たに次期大綱及び教育振興基本計画を策定することについて、協議するものであります。説明につきましては、木下教育部長からお願いいたします。

(教育部長)

資料をご覧ください。教育大綱・教育振興基本計画につきまして、今回第3期を策定するものです。本日、策定に向け、基本理念、基本目標、審議会委員、スケジュールなどの計画案をお示しし、ご意見をいただきたいと思っております。

計画期間について、これまで1期5年でありましたが、次期につきましては、現在進めております「復興まちづくり計画（スローガン「もとよりもっと 新・輪島」）」の終期である令和16年度までの9年間とします。

教育振興基本計画については、この9年間において3年ずつ3期で、見直しを兼ねながら進めてまいりたいと考えております。

基本理念案ですが、大災害からの復興に向けて歩みを進める上で、その役割を担う人づくりが重要であると考え、「志」を持ち、ふるさと輪島の未来を創造する人づくり」としてまいります。

次に、基本目標案ですが、全ての教育活動の根幹に、「創造的復興教育つなぐプロジェ

クト」を据えて取り組みを進めたいと考えます。

- 1 創造的復興教育つなぐプロジェクトの実践
- 2 学校教育の充実（確かな学力、豊かな心、健やかな体）
- 3 地域社会全体で取り組む学ぶ力の向上（オール輪島からチーム輪島へ）
- 4 生涯を通じた学びの推進（学習機会の充実、スポーツの推進）
- 5 「伝統文化」地域資源の保存・継承・活用（文化財の保存、文化芸術の振興）

基本目標案の5につきましては、この会議の前に開かれた教育委員会の定例会で「芸術分野」を分かりやすくした方がよいとのご意見をいただいております、今後開催される審議会で整理したいと考えております。

次に、審議会委員の案ですが、赤く「新」と示している方が、今回新たに選任させていただきます。

一人目は左古 隆 委員。こちらの方は元輪島市教育委員会の委員で、現在の教育事務点検審議会の委員でございます。

次に、松山 真由美 委員。この方は元小学校の校長でございます。

次に、山岸 茂樹 委員。この方は元中学校の校長でございます。

山田 忠和 委員につきましては、輪島市 PTA 連合会の会長であります。

山田 祥子 委員につきましては、輪島市各種女性団体協議会の会計でございます。

スポーツ協会は、前回までは会長の宮地さんでございましたが、今回は副会長の鬼平 隆 さんのご推薦をいただいております。

そのほか、村元 委員、大倉 委員、七浦 委員は前回のままお願いしたいと考えておりま

す。

この審議会の委員について以上の9名でお願いしたいと考えております。

今後のスケジュールについてですが、11月14日に第1回の審議会を開催し、委嘱状交付、諮問の上、審議に入りたいと考えております。11月21日には第2回目、26日には第3回目、12月に入りまして2日に第4回目ということで、計4回で答申をいただきたいと考えております。非常にタイトなスケジュールですが、審議を進めてまいりたいと考えております。12月中旬～1月中旬にかけて約1か月間でパブリックコメント実施、その後、教育委員会臨時会を開催し、1月末に予定している第2回総合教育会議にて、大綱を策定するスケジュールとしております。

■ 審議・質疑応答

【審議会の委員について】

(石本委員)

女性団体からの推薦は今まで幹事・書記、今回は会計だが、会長・副会長には打診をしなかったのか？

(教育部長)

男女共同参画の観点から、女性団体にも参加していただいています。おっしゃるとおり、市としても基本的には各団体の代表者をお願いしておりますが、大規模災害後ということでも市内においでない方もおり、役職を継続していくことさえも難しいという状況でありま

す。できるだけ代表の方の推薦をお願いしてまいりましたが、団体の都合で会計の方でお願いしたいとご推薦をいただいたため、意見をまとめて参画していただきたいという思いで、提案させていただいております。

(市長)

副会長は2名いるが、打診していないということか。普通、会計という役職の人が出てくるのは「え？」と思わないか。本当に会長・副会長は出てくれないのか。震災後、しっかり会長・副会長が決まっておらず、組織として運営・活動できていないのか。実態が見えないが、会合はしているのか。この方がダメということではないが、この審議会は大切なことなので、実際に活動している団体の会長や副会長に意見を出してもらうのが本来の主旨だと思う。そうでなければ、個人の意見になってしまう。

(教育部長)

災害後、金沢方面へ避難している方もいます。審議スケジュールが1か月という厳しい期間でのお願いということもあり、このようになりました。スポーツ協会も同様です。

たしかに、活動が十分にできない状況ではあります。しかし、男女共同参画を進めるという観点もあり、いろんな女性団体をまとめている各種女性団体協議会から推薦させていただいております。ただ、これは案であり、そのため、この会議において、ご意見をいただきながら選任をしていきたいと思っております。

【基本理念の「志」という言葉について】

(浦委員)

基本理念の「志を持ち」というフレーズが気になります。基本目標 1 の創造的復興教育つなぐプロジェクトと関係しているのか。基本目標 2～5 は一般的な内容であり、「志を持ち」とあえて付ける必要性があるのか、なぜつけたのか理由を聞きたいです。

(教育長)

これまで「夢を描く」ことに力を入れてきましたが、夢を夢で終わらせず、生き方に踏み込み「こういう風に生きていきたい」という志までに高めるという思いを込めて、あえて一番最初に持ってきました。この計画の最初に「ふるさと輪島の未来を創造する人づくり」を掲げ、ただ描くだけでなく「こういう風に生きていきたい、関わりたい」と確たるものものを持たせたい、という思いです。

高校 3 年時にしっかりと自分の志を持って、輪島市の将来について関心を持って、巣立って行ってほしい。

(浦委員)

志は皆さん、人それぞれにある。輪島市教育委員会としてこういう志を持ってほしいということなのか。

(教育長)

「輪島の創造的復興を支える人材」そのために自分はどんな志を持って生きていくか、
そういう視点です。

(浦委員)

そういった関係性が見えてくると良いのだが。志をあえて書かなくても、「ふるさと輪島の未来を創造する人づくり」の中に、私たちが目指す志が内包されているのではないか。この紙面だけで見ると、「志を持ち」と入れることで、かえってどんな志なのか、一般の人が見た時に余計なことに囚われてしまうのではないか。ない方がよりスッキリし、明確になるのではないかと思います。私の感想です。

(松山委員)

志は、人によって違います。大綱を見た時に受ける印象を考えると、志は自分が持てば何でもいいのかなとか、後の文章を見て、縛ろうとしているのかなとか。なくても感じられる部分でもあるが。

(谷口委員)

「ふるさと輪島の未来を創造する人づくり」自体が、すでに大事な志なのだと思いました。 「あえて志を持ちと書かなくても良い」という浦委員のご意見に同意します。

(市長)

強く表したいという思いで志という言葉を入れたとのことだが、浦委員の話を聞くと、シンプルな方が良いと思いました。ないほうが良い気がします。

強い思いで書かれたとのこと、 「ふるさと輪島の未来を創造する人づくり」で十分に強い基本理念になると思いますが、どうでしょう。

(教育部長)

教育現場において、早く自分の目標を持っていただきたい。ただ、将来に渡って目標は変わって当然。何になりたい、どんな風に生きたいと最終的には変わっていくが、教育現場では、そこが我々は足りないように感じています。

夢を志に高めるといふ狙いと、復興プロジェクトの中で、自分の目標を持つところから成長してほしいという思いで、あえて強く表現させていただきました。

志は人それぞれあって当然です。いろいろなものが将来、輪島の未来づくりに繋がればと思い、表現させていただきました。ここの表現については、皆さんにご意見をいただきながら整理していきたいと思えます。

(教育長)

皆さんの意見を聞きながら、なるほどなど。輪島市の子どもたちに決定的に足りないのは何か、中学卒業段階での志の一点につきると思っています。古いしきたりにこだわるわけではないが、19市町で立志式をやっていないのは輪島市だけ。もっと将来に向かって

自分がこうありたいというものを早く育みたい、そういう思いがあり、夢を志に高めて卒業して行ってほしいといった話し合いの中から、ここへ志を持ってきた。ただ、皆さんがおっしゃったように、教育振興基本計画の中で志の部分は集約できるので、基本理念は志を外し、シンプルにいきましょうか。

(浦委員)

志に鍵括弧がついている、ここが引っかかるなと思っていました。それが狙いかもしいないが、鍵括弧がついていると、どんな意味合いの志なのか、こだわったり、囚われたりしてしまうようなことがあるかもしれない。基本理念としてはふるさと輪島を創造する、支えていく人、そっちを出していった方が良いのではないか。

(教育部長)

基本理念は「ふるさと輪島の未来を創造する人づくり」といたします。

【基本目標5の「「伝統文化」地域資源の保存・継承・活用」について】

(教育部長)

基本目標5「「伝統文化」地域資源の保存・継承・活用」について、定例会で、文化・芸術分野が過去2回の目標と比較して少し弱く、分かりやすくすべき、とのご意見がありました。

伝統文化というものを、文化芸術ということで整理をするということをご提案させてい

ただきたいと思います。

また、伝統にこだわった理由としては、震災後、地域のコミュニティや人とのつながりの中で、これまで培われてきた伝統が非常に強く作用しました。そうしたものを継承していくという考えから伝統を入れたが、生涯学習につながる芸術活動も大事。芸術というものを表現しながら追加したらどうかというご提案です。意見があればいただきたいです。

(市長)

新たに提案することよろしいか？

(教育部長)

先ほどの基本理念においてご意見がありましたように、この基本目標5において皆様からご意見があればいただきたいということです。

(石本委員)

定例会で議論して、「文化芸術活動の推進」という言葉を入れると決まったのではないのか。

(浦委員)

そうですね。

(市長)

定例会の中でこれと決まったのか。

(教育部長)

定例会では決定ではなく、ご意見としていただいたものであります。

(市長)

伝統文化に鍵括弧をつけると、それにこだわったふうになってしまう。それから文化芸術の文言が抜けてるというのはよくない。

(石本委員)

「伝統文化」の鍵括弧をとる。それから、文化芸術活動の推進という言葉を入れるべきだと思う。

(松山委員)

定例会では、伝統・文化・芸術の3つを並列に並べるという認識でした。伝統を継承していくということも大事なので、伝統も入れて、伝統・文化・芸術という並列な形が良いと思う。

(浦委員)

文化活動というものが前回、前々回で充実とか推進というのがあるのに、今回それが抜けているということが違和感があった。4番に生涯を通じた学びの推進、学習機会の充実、スポーツの推進となっているけれども、文化スポーツの推進とつけていただくといいなと思ったところであります。文化活動を頑張っておられる方もたくさんいらっしゃるので、教育振興基本計画の中に書かれているからではなく、今まで目標に書かれていたように示した方がいいのではないかと思います。

(教育部長)

文化や芸術は幅広く奥深いので、伝統・文化・芸術の3つを並列に並べる形での表現について、この後に続く基本方針にも関係するので整理させてもらえたらと思います。

(司会)

基本理念、基本目標につきましては、皆様のご意見に基づいて修正していきたいと思えます。

審議会の委員、女性団体の代表者につきましては、活動内容等を確認しながらこの人ならという方がいれば委嘱するという形でまいりたいと思います。

素案に修正をかけながら、教育大綱策定等審議会に諮問し、答申を元に大綱及び教育振興基本計画を策定するという形でよろしいでしょうか。

(市長ほか)

異議なし。

(司会)

では、今年度中の策定に向けて、作業を進めてまいります。

以上で総合教育会議を終了いたします。

= 終 了 =

■ 出席者：11名

市長、教育委員会委員 4名、教育長、教育部長、教育総務課長（司会）、教育総務課課長補佐、庶務係長、主事